

ひかり

2018年10月号



日本聖公会 三光教会

第 671 号

〒142-0064 東京都品川区旗の台 6-22-24

電話 03(3781)2554

FAX 03(3781)2544

<http://nssk.org/tokyo/church/sanko/stephen/>

創立 救主降誕 1912 年 (大正元年) 11 月 2 日

All Saints
(諸聖徒日)

はっきり言っておく。キリストの弟子だという理由で、あなたがたに一杯の水を飲ませてくれる者は、必ずその報いを受ける。(マルコによる福音書 9:41)

バザーの果実を献げる

司祭 グレース 神崎 和子

三光教会の庭を歩いていますと、どこからか金木犀の花の甘い香りが漂って来ます。

この甘い香りと共に、教会バザーの季節がやって来たと感じます。金木犀の花の香りと共に、かつてあちらこちらで過ごしたバザーのひと時を思い起こします。

それぞれの教会が、この時期は力を合わせてバザー開催に向かって準備します。ケーキを前日から皆で焼き、教会の名物のようになっていく教会もあります。

レシビを代々受け継ぎ、教会のケーキとして近隣の方々から楽しみにされています。特に戦後間もない時期は、宣教師から教わったケーキは珍しがられて大好評だったそうです。

また食べ物などは、朝早くからお寿司やおでんを準備したものです。

昨今では状況も変化し、食品関係は衛生面その他を厳しく問われる時代となり、なかなか難しい現状があります。

三光教会は106年の歴史を持つ教会です。バザーは長い歴史の中で地域の人々との交流の場であり、また地域の方々にこの教会を知っていただく良い宣教の機会でもありました。

その様な伝統を引き継ぎながら、今年もバザーが行なわれます。献品のお問い合わせも後を絶ちません。ただひたすら誠実に、コツコツとバザーを継続して行なってきた結果であると思います。

そして、これらの地域の方々、また多くの支えてくださる方々の思いに込めて、今年も大きな災害が続く中、困難な状況に置かれている「と小さな人々」を少しでもお支え出来ればと願っています。

最後にこの言葉、すべてのものは主の賜物。わたしたちは主から受けて主に献げたのです。」

この祈りと共に、バザーの果実を届けたいと願います。

10月・11月の予定

◆ 10 月

21 日 (日) 聖霊降臨後第 22 主日
 23 日 (火) 聖書に学ぶ会 (旧約)
 28 日 (日) 聖霊降臨後第 23 日主日
 29 日 (月) 三光教会秋の大バザール
 使徒聖シモン・使徒聖ユダ日

◆ 11 月

1 日 (木) 諸聖徒日
 2 日 (金) 諸魂日
 4 日 (日) 聖霊降臨後第 24 主日
 5 日 (月) 11 月逝去者記念礼拝 (聖餐式)
 6 日 (火) 聖書に学ぶ会 (新約)
 10 日 (土) 主教教会博士レオ
 11 日 (日) 聖霊降臨後第 25 主日
 13 日 (火) 第 106 回三光教会創立記念日

16 日 (金) 聖書に学ぶ会 (旧約)
 17 日 (土) 修院長ヒルダ
 18 日 (日) 聖霊降臨後第 26 主日
 20 日 (火) 聖書に学ぶ会 (新約)
 22 日 (木) 殉教者おとめセシリア
 23 日 (金) 殉教者主教ローマのクレメント
 25 日 (日) 降臨節前主日
 27 日 (火) 聖書に学ぶ会 (新約)
 30 日 (金) 使徒聖アンデレ日

◆ 12 月

2 日 (日) 降臨節第 1 主日
 3 日 (月) アジアの殉教者とフランシスコ・ザビエル

三光教会 新連絡網の 申し込み始まる

今まで男子会、旧婦人会の連絡網で訃報等を連絡してまいりましたが、両方の会に所属していない方には連絡が届いていなかったため、今回教会に所属する信徒の方でご希望される方全員に連絡が行き届くように、新しい連絡網を作成することとなりました。

新しい連絡網の方法としては、

- ① ファックス（二斉に送付）
- ② Eメール・携帯メール（二斉に送付）
- ③ 電話（連絡到着が多少ずれることがあります。）

の三通りの中から**家族一つ**を選んでいただくようお願いいたします。この申込みは9月9日から始まりました。申込用紙は9月郵送の「ひかり」にも同封しました。

この連絡網の利用は三光教会の冠婚葬祭及び災害等の情報連絡等に利用させていただき、他には利用しません。申し込みされる方は左記のファックス、Eメール、また申し込み書を郵送等でお送りく

ださい。電話、口頭でのご連絡は控えてください。

締め切りは**11月30日金**。詳細は申込書をお読みください。申込書が見つからない方及びお問い合わせは教会までご連絡ください。

・教会のファックス番号

03-3781-2544

・教会のEメールアドレス

sankos554@yahoo.co.jp

・教会の住所、電話番号

〒一四二〇〇六四 品川区旗の

台六―二―二四 ☎03-3

781-2554

（記・総務委員会 大越伸二）

男子会だより（9月）

釜石支援をひと区切り

7年半前に起きた東日本大震災の災害は忘れることが出来ません。その年、男子会の中から何かアクションを起こしたいとの提案があり、先ずは不定期でも支援の活動を始めようと「三・イチ・イチ・ヨルダン会」が5月からスタートし、数々のイベントを開催しました。

特に三光教会の信徒である向井清子さんが、釜石支援センター

で最初の期間に活動していることを知り、釜石が一層身近なものになりました。この関わりを通して釜石の幼稚園を知り、改築なった施設の園庭に遊具を寄贈し、また原発に近い浪江町で被爆の被害を受けた精神障害者の作業所であるコーヒータムが困難な状況にあることを知り支援が出来たのです。

最後のチャリティBBQは、9月16日(日)に開催しました。今回は特に釜石支援センター「望」の海老原所長にお願いし、肉厚なほたて貝や脂のしつかり乗ったサンマといった海産物を直送して頂き、参加者全員は三陸の幸を堪能することができました。当日の参加者は19名、有志の方から美味しいピクルスやビール・ワインの差し入れを頂きました。募金にも7名の方がご協力を、さらに「からし種の会」からも1万5千円を、また材料費の残金を加えて、4万5千円を送金することができました。

これでチャリティプログラムについては一区切りと考えていますが、困っている人々に手を差し伸べて行くことは、常に忘れず心がけてゆきたいと願います。

（記・男子会 頼仰史）

香蘭女学校のための 夕の礼拝

「香蘭女学校のための夕の礼拝」を始めて5年が過ぎました。この間、同校と教会を取り巻く環境は様々に変化し続けており、出席者減少に悩んでいます。

そこで、両者が共に祈るという原点を大切にしつつ、無理のない形で礼拝を継続するにはどうしたらいいか。一人でも多くの生徒が出席するためにどのような工夫ができるかを模索するため、宣教委員会と同校キリスト教センターと話し合いの時を重ねています。

その結果、これまで夏休み期間中などを除いて毎週金曜日に行なってきた礼拝頻度はペースダウンするものの、日課朗読やオルガン奏楽など礼拝における生徒の役割を増やすこと、教職員に対しても出席を促すことにして2学期に臨むことになりました。

そして9月21日(金)の2学期最初の夕の礼拝。「いったいどのくらいいの生徒が来てくれるのか」という心配は蓋を開けると、なんと60名超の生徒に10名余りの教職

員、教会からの出席者を合わせるとちよつとした主日の礼拝くらの出席者で礼拝堂は埋まり、大きな喜びを感じる礼拝でした。

また、礼拝後には簡単な茶話会を開きましたが、真正正銘のガールズトーク全開で賑わう会館には、日曜日の午後とはまた違う空気に満ち、話に加われないおじさん、おばさんもそこにいるだけで元気をもらった気分になる、楽しいひと時となりました。

次回は11月9日（金）17時半からの予定です。

（記・宣教委員会 藤田新一郎）

教会のお掃除にご協力を

聖堂内外のお掃除の協力者が少なくなりました。土曜日の午前10時から1時間程ご奉仕ください。ご協力いただける方は直接参加してください。

はじめて教会にいらした方へ

礼拝様式に馴れない方は椅子にお掛けになったままで結構です。

- 礼拝中の献金は、信施金として伝道のために献げられるものです。金額は自由です。
- わからない点は隣の席の者か案内係にお聞きください。

礼拝のご案内

■主日礼拝

午前 7:00 早祷・嘆願
午前 7:30 聖餐式
午前 9:00 ステパノ会
（日曜学校）礼拝
午前 10:30 聖餐式
午後 4:00 夕の礼拝

■平日礼拝

月曜日から土曜日までは、
毎朝 6:30 の早祷に引き続いて聖餐式